

卒業式に向けての児童総会

2月13日に、卒業式に向けて児童総会を行いました。今年の卒業式のテーマは『報恩謝徳』～24人で伝え合い、笑顔あふれる野矢っこたち～になりました。ちょっと難しいテーマですが、「報恩謝徳にはお互いに感謝し合うといった意味があるので、4月からお互いに支え合ってきた在校生と卒業生が、感謝し合えるような卒業式にしたい」といった願いを込めて設定したテーマです。このテーマは、児童会役員が提案したテーマについて6年生から修正案が出され修正されたものです。その他にも「めあて」や「仕事分担」などにも修正案が出され、2時間慎重に話し合われた後に承認されました。

この承認のプロセスについて、子どもたちは何を学んでいるのかを考えてみました。私も小学生や中学生の時に児童会や生徒会の総会で修正案などを話し合っただけの経験もあります。そうすることで、児童会の提案内容がよくわかり、具体的な取組のイメージができるし、やる気も起こっていました。しかし、今はどうかというと、大人の世界でも多くの団体があり、総会などを行って議案や事業計画などが承認されます。私自身も様々な団体の役員や会員になっていて、年間多くの総会に出席して承認をしています。しかし、野矢小学校の児童会のように修正案が出されることはありません。それはなぜかということ、そんなに真剣に議案や計画について考えることが少ないからです。特に「昨年同様」といった言葉を出されると、「まあ、いいか」となってしまいがちです。（私自身の反省点です）

つまり、児童総会で話すことで卒業式に対する思いや具体的なイメージの共有ができたり、卒業式に対する意欲化に繋がったりしているのではないかと思います。特に低学年にとっては、提案文書だけでは読み取れない部分について話し合いをすることで具体化が図られると思います。また、大きな視点で考えれば、民主的なルールを学んでいる場でもあります。

学校は教科の勉強だけでなく、大人になるための基礎を様々な活動を通して学んでいくところです。これからもこういったプロセスを大切にしながら教育活動を行っていきたいと思います。

令和6年

(令和5年度)

2月16日

第 15号

校長 小幡英二



野矢小学校のホームページに写真など多くの情報を載せています。QRコードです。ご覧下さい。



季節の行事を楽しむ

2月2日に節分を楽しむ行事を全校でしました。鬼のちぎり絵を作り、自分の中から追い出したい鬼をかいで新聞紙で作った豆をぶつけて追い出しました。その後、鬼がやってきたので、みんなで追い払い、年男、年女から豆をもらいました。全校で楽しむことができました。



今年一年を振り返って

先日、緑陽中学校の卒業式に来賓として呼ばれて出席してきました。野矢小学校出身で今年、中学校を卒業する生徒は3名いました。3名とも私自身は直接知らないのですが、妹や弟が野矢小学校に在籍しているので何となく親近感もわいて卒業証書を授与される姿を見ていました。その姿はとても堂々として晴れがましく、素晴らしい笑顔でした。その後、学校にも親子揃って来てあいさつをしてくれました。昨年度の卒業生も親子揃って小学校にあいさつに来てくれていたのを思い出しました。

私自身はそんな思い出はなかったので、とても新鮮に映ると同時に野矢小学校の卒業生にとっては母校といった思いが強いのだろうと感じました。そう考えると、今の6年生にとっては野矢小学校に対する思いはどうかを考える機会にもなりました。

今年の6年生はリーダーとして様々な行事を引っ張ってくれました。運動会、校内文化祭をはじめとして、児童会活動、マラソン大会、昼休みの活動など下級生に対して配慮しながら、丁寧に指導していました。授業でも意見を出し合い活発に授業に取り組んでいました。今年は1年生がいなかったのですが、5学年で協力して新しいことにもチャレンジしてくれました。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられて、日常を取り戻したといわれていましたが、過去3年間の学校は、多くの活動が止まっていたため、6年生にとっては、2年生までしか日常がなかったことになり、日常を取り戻すのではなく、毎日が新しい取組のようなものであったと思います。元に戻すのではなく新しく歴史を構築してくれたこととなります。

私たち学校の職員も同様の取組でした。異動があったり、コロナがあったりで、元に戻すといった気持ちよりも新しく創り上げるような気持ちで取り組んできました。但し、保護者や地域の方々、教職員はどんな時でも忘れてはならないことは、子どもを中心に考えることです。確かに自分の子どもさんが在籍している時と、卒業した後では多少考え方は変わってきます。しかし、この野矢地区で子どもを育ていき、将来、様々な形で野矢に関わってほしいといった思いは同じだと思います。

この一年間、様々な場面で保護者・地域の方々にお世話になりましたことに深く感謝申し上げます。また、来年度もよろしくお願いします。

令和5年度

令和6年3月11日

第16号

校長 小幡英二



野矢小学校のホームページに写真など多くの情報を載せています。

つながり学習と入学式

つながり学習とは、来年入学する予定の子どもたちと小学生がこども園や学校で交流活動を行うことです。こども園が統合された時から九重町全体で行われるようになった取組です。昨年度は、野矢小学校では新入児童がいなかったために行いませんでした。来年度は4名の入学予定児童がいるため、4回実施しました。第4回は2月20日に実施しました。新入生保護者説明会の間に、4・5年生とゲームやドッジボール、鬼ごっこをしました。元気な子どもたちの声が体育館に響きました。

昨年4月は、始業式をしてすぐに授業が始まりましたが、来年度は1年生と登校する姿や、様々な行事で上級生が1年生に教える姿が見られると思うと楽しみが広がります。後、一月後を想像して、入学式を心待ちにしたいと思います。